

特集

〈装飾〉の織りなす芸術

企画展示「ウィリアム・モリス生誕190年と
本学関連コレクション」に寄せて



左上から時計まわりに:ケルムスコット・プレスの印刷所マーク(モリスがデザインしたもの。William Morris, [Printer's Mark], *The Story of the Glittering Plain*. By Morris. Illus. Walter Crane. Kelmscott Press, 1894, p. 179 より。9.2×13.4cm);チンツ(捺染されたコットン)「いちご泥棒」(モリスがデザインしたもの。部分、Morris. *The Strawberry Thief Design*. N.d. Aymer Vallance. *The Art of William Morris*. George Bell, 1897, plate XV より);『ジェフリー・チャウサー作品集』(部分、Geoffrey Chaucer. *The Works of Geoffrey Chaucer*. Illus. Sir Edward Burne-Jones. Ed. F. S. Ellis. Kelmscott Press, 1896, n. pag. より。42.5×29.2cm);壁紙「デイズ」(モリスがデザインしたもの。部分、Morris. *The Daisy Design*. N.d. Vallance 前掲書、plate IV より)。

CONTENTS

- 特集 〈装飾〉の織りなす芸術－企画展示「ウィリアム・モリス生誕 190 年と本学関連コレクション」に寄せて
理工学部准教授 輪湖 美帆
- 就活に役立つ！企業・業界研究セミナー
- 図書館企画展示「源氏物語」展を開催
- 文学部 西川 広平教授ゼミ主催展示「中世都市 山田と伊勢の旅」を開催
- 日・EU フレンドシップウィーク企画展
『「オリンピック」と「フランス」～繋がる歴史、未来への想い～』を開催
- ご活用ください！！高速デリバリーのご案内
- 新収資料紹介 中央大学教職員著作目録・資料目録（2023.5～2023.9 収集分）

特集

〈装飾〉の織りなす芸術

企画展示「ウィリアム・モリス生誕190年と 本学関連コレクション」に寄せて

理工学部准教授 輪湖 美帆

「芸術」と聞いて皆さんは、まず何を思い浮かべますか？
多くの人が美術館にある絵画、彫刻、あるいは壮大な建築物などを思い浮かべるのではないのでしょうか。難しそうで敷居が高いもの、そんな風に考えた人もいるかもしれません。しかし今回注目する19世紀のイギリスで活躍したウィリアム・モリス（William Morris, 1834–1896）は、未発表の断章でこんなことを書き残しています。

〈芸術〉の最も重要な産物でありかつ最も望まれるべきものは何かと問われたならば、私は〈美しい家〉と答えよう。さらに、その次に重要な産物、その次に望まれるべきものは何かと問われたならば、〈美しい書物〉と答えよう¹。

家や書物が芸術の産物？ と拍子抜けした方もいるかもしれません。芸術というのは絵画や彫刻、建築だけではなく、例えば建築の一部や日々の生活を彩る家の内装や家具、また書物を構成する活字や余白も含まれる—そんなことを主張し、美しい壁紙や家具、書物を残したのがウィリアム・モリスなのです。今回モリス生誕190年という節目に、中央大学図書館に所蔵されているモリス関連の貴重なコレクションの一部が中央図書館に展示されます。この図書館による企画展示に寄せて、モリスの功績を簡単にご紹介してみたいと思います。

ウィリアム・モリスと〈装飾芸術〉

それではウィリアム・モリスとは、いったいどんな人だったのでしょうか。1834年にイギリスのエセックス州ウォルサムストウに生まれ、1896年にハマスミスで亡くなったモリスは、生前は詩人としての方がその名を知られていましたが、他にもデザイナー、経営者、社会主義運動家でもありました。またアーツ・アンド・クラフツ運動という美術工芸運動の先導者でもありました。こうしてその肩書を並べただけでモリスの多方面での活躍ぶりが窺え、ここでその全てを紹介することはできませんが、モリスを語る重要なキーワードとして、〈装飾〉あるいは〈装飾芸術〉があります。モリスは、イギリスの美術評論家ジョン・ラスキン（John Ruskin, 1819–1900）の思想、特に「ゴシックの本質」（『ヴェネツィアの石』第2巻第6章）から多大な影響を受け²、産業革命以後機械化が進むイギリス社会の中で、人間の労働の喜びが減っていることを憂い、中世の職人による手仕事にもものづくりの理想を見ます。そして手仕事によってつくられた美しい室内装飾品を人々の生活の中に紹介しようとした³。モリスは〈建築〉、〈彫刻〉、〈絵画〉などを〈大芸術〉、その一部に過

ぎないと思われている〈装飾芸術〉を〈小さな芸術〉と呼んで、後者も前者と同様に重要な芸術であること、またその〈装飾〉を手掛ける「自分の仕事をすぐれたものにしようという覚悟をもった職人」⁴たちのことも芸術家と呼んだのです⁵。こうした信条を、モリスは様々な形で実践しようとし、美しい家や美しい書物の実現を目指そうとしました。

モリスと〈美しい家〉

モリスは、室内装飾を含む優れた〈装飾芸術〉を「一般に想像されているよりもはるかに廉価」⁶で提供することを目指して1861年に仲間たちとモリス・マーシャル・フォークナー商会を設立しました。商会の設立に至った二つのきっかけとして、一つは1857年にオックスフォード・ユニオンの討論室の壁画制作を、画家・詩人のダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ（Dante Gabriel Rossetti, 1828–1882）や生涯の友人となる画家エドワード・バーン＝ジョーンズ（Sir Edward Burne-Jones, 1833–1898）らと取り組み〈装飾芸術〉や共同制作の魅力に触れたこと⁷、またもう一つはモリスが結婚した際、建築家フィリップ・ウェッブ（Philip Webb, 1831–1915）やバーン＝ジョーンズといった友人たちの協力も得て、内装にいたるまでこだわりぬいて新居をつくりあげていったことが挙げられるようです。こうした経験を経て、自分たちが理想とする装飾芸術品を仲間と制作し販売する流れとなったのです⁸。

モリス・マーシャル・フォークナー商会（1875年にはモリスの単独経営となりモリス商会となります）は、その最初期は主に教会のためのステンドグラスなどの制作を手掛けますが⁹、1862年に第2回ロンドン万国博覧会でステンドグラスや家具などの室内装飾品を出品して認知度を高め、1866年には依頼によりセント・ジェイムズ宮殿とサウス・ケンジントン博物館（現在のヴィクトリア・アンド・アルバート美術館）の室内装飾を手がけるなど、順調に成長していきしました¹⁰。

商会は家具やテキスタイル等、より生活に密着した様々な製品を制作販売していきますが¹¹、中でも人気が出たのはモリスがデザインした壁紙と言えるでしょう。モリスがデザインしたテキスタイルや壁紙は、植物、特に春や夏の花を主なモチーフとすることが多く¹²、そのデザインは現代でも様々な形で使われていて、皆さんも一度は目にしたことがあるのではないのでしょうか（特に表紙図版右上の「いちご泥棒（The Strawberry Thief Design）」や同左下の「デイジー（The Daisy Design）」は有名かと思います）。モリスは1862年、第2回ロンドン万博後から壁紙のデザインを行います当初は売れ行きが思わしくなく¹³、壁紙が商会の主力製品となったのは1870年代頃

からでした¹⁴。モリスは手押しの印刷にもこだわり、版木制作から印刷の各工程に細かな注文を出し、色やデザインの仕上がりにおいて妥協を許さなかったようです¹⁵。中央大学の「ウィリアム・モリス関係コレクション」の中には Morris & Co. の文字が確認できる、1884年デザインと思われる壁紙「ワイルド・チューリップ」(Wild Tulip, N.d.) の額装があり、モリスのこだわりの一端をより間近で見ることができるといえます(図1)。また、モリスが没した翌年に出版されたエイマー・ヴァランス (Aymer Vallance) の『ウィリアム・モリスの芸術』(The Art of William Morris, 1897) もあり、そこにはモリスの他の壁紙やテキスタイルのデザインが掲載されており、モリスの色使いやデザインの美しさの一端を垣間見ることができます(表紙図版右上、左下も同書より)。



図1 壁紙「ワイルド・チューリップ」(部分)
[William Morris]. Wild Tulip. Morris & Co., N.d. Wallpaper. 104×56cm.
中央大学図書館所蔵。

こうしてモリスは人々が生活の中に導入すべき「民衆の芸術」の重要性を説き¹⁶、日々の生活における美しい〈装飾〉の制作販売を続けましたが、手作りの製品にこだわったので、製品の価格が高くなってしまい、モリス商会の製品の購買層が裕福な人に限定されてしまうという矛盾を抱えてもいました¹⁷。

モリスと〈美しい書物〉

53と48 一何の数字だと思いますか? この二つはモリスが創り出した美しい書物と本学図書館の「ケルムスコット・プレス刊本完全コレクション」をつなぐ数字なのですが、答えは少し先に延ばすこととして、次にモリスが世に問うた美しい書物について見ていきましょう。

1880年代になるとモリス商会の室内装飾製造会社としての地位は盤石なものとなり、商会の仕事や社会主義運動にいそしんでいた80年代を過ぎモリスの晩年となる90年代に入ると、彼にも時間的・経済的余裕が生まれてきていました¹⁸。そして1891年、モリスはケルムスコット・プレスという私家版印刷工房を設立、以降美しい書物を創り出すことに力を注ぎました。美しい書物についてのモリスの中心的な考えは彼の建築や室内装飾に対するものに似ていて¹⁹、細部へのこだわりが全体の美しさを生み出し、書物づくりに欠かせない職人という芸術家たちが、一緒になって書物という芸術をつくり出す、という考えでした。モリスは、「ゴシック本の木版画」という講演(1892年)で挿絵入り本につい

て、「挿絵と他の装飾や活字との結合は…(中略)…本質的で芸術的な結合であるべきだ」²⁰とし、書物を成り立たせる様々な要素が一緒になって芸術をつくりだすべきだと主張しました。彼は次のように続けます。

木版画のデザイナー、装飾木版のデザイナー、木版彫板師、刷り師、彼らの全員が、思慮深く労を惜しまぬ芸術家であって、全員がひとつの芸術作品の制作のために一致協力して作業にあたるということである。美しい書物を得るためのこれが唯一の可能な方法である²¹。

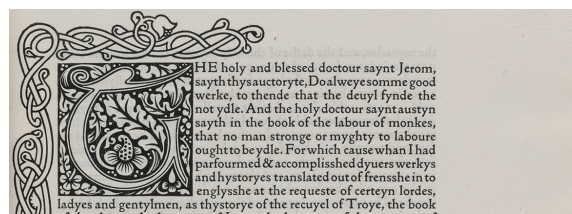


図2 ゴールデン活字 (モリスがデザインしたもの。Golden Type)
『黄金伝説』(部分、Jacobus de Voragine. The Golden Legend. Trans. William Caxton. Ed. Frederick S. Ellis. Vol. 1. Kelmscott Press; Bernard Quaritch, 1892, p. iii)。

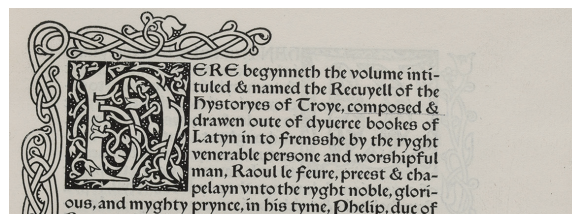


図3 トロイ活字 (モリスがデザインしたもの。Troy Type)
『トロイ物語集成』(部分、Raoul Lefevre [Lefèvre]. The Recuyell of the Histories of Troye. Trans. William Caxton. Ed. H. Halliday Sparling. Vol. 1. Kelmscott Press; Bernard Quaritch, 1892, p. iii)。

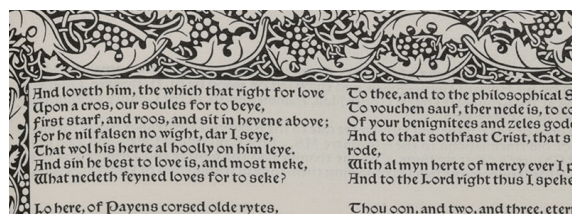


図4 チョーサー活字 (モリスがデザインしたもの。Chaucer Type)
『ジェフリー・チョーサー作品集』(部分、Chaucer, 前掲書、p. 553)。
トロイ活字を小型化したもの。

こうした信念のもと、モリスは自らの「理想の書物」を実現すべく中世の書物を手本に細部にこだわった美しい書物を生み出していきます。彼は活字(図2-4)や装飾頭文字、縁飾り、印刷所マーク([Printer's Mark], 表紙図版左上)なども自らデザインし、余白と活字、挿絵等のバランスを大切にしました²²。そうしてケルムスコット・プレスは、モリスの自著に加え前述のラスキンやロセッティ等、モリスが「強い関心がある」作品を印刷し²³、モリスの死後も含め全部で53点の書物を印刷しました。53、そう先ほど言及した1番目の数字です。本学図書館のコレクションには、この53タイトル全てが所蔵されています。また2つ目の数字48ですが、バーン＝ジョーンズのデザインによる挿絵を施した、ケルムスコット・プレスの傑作『ジェフリー・チョーサー作品集』(Geoffrey Chaucer. The Works of Geoffrey Chaucer, 1896)の総豚革装丁版(ダヴズ製本所特装版)が制作された部数でした。そのわずか48部のうちの1部が中央大学図書館のコレクションに所蔵されています(表紙図版右下、図5、6)。



図5『ジェフリー・チョーサー作品集』(Chaucer, 前掲書、n. pag.)。挿絵はバーン=ジョーンズによるデザイン。

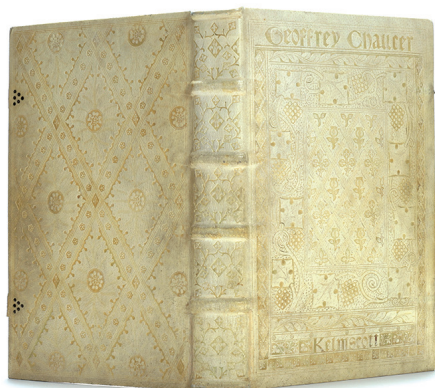


図6『ジェフリー・チョーサー作品集』(Chaucer, 前掲書、表紙)。豚革装。

終わりに

最近では100円ショップでも、モリスのデザインを使った商品を見かけることがあります。皮肉にも高価になってしまったモリス商会の提案する暮らしに彩りを添える〈装飾〉が、入手しやすくなったと考えることもできるかもしれませんが。しかし印刷された壁紙の色味まで厳しくチェックし、家全体のことを考えていたモリスのことを思い出せば、また少し違った景色が見えてくるのではないのでしょうか。それぞれの家や書物の美を実現するために、細部の〈装飾〉とそれを作り出す存在に注目し芸術家として重視したモリス。本学所蔵の、壁紙やケルムスコット・プレスの手がけた美本が観られる今回の企画展示を通じて、モリスがこだわった細部と全体の織りなす芸術の一端にぜひ触れてみてください。

*本稿の作成にあたり助言をくださった川端康雄先生に、記して感謝申し上げます。

・図版出典一覧(全て中央大学図書館所蔵)

Chaucer, Geoffrey. *The Works of Geoffrey Chaucer*. Illus. Sir Edward Burne-Jones. Ed. F. S. Ellis. Kelmscott Press, 1896.

Lefevre [Lefèvre], Raoul. *The Recuyell of the Historiyes of Troye*. Trans. William Caxton. Ed. H. Halliday Sparling. Vol. 1. Kelmscott Press; Bernard Quaritch, 1892.

Morris, William. *The Bird and Anemone, and The Strawberry Thief Designs*. N.d. Chintzes. Vallance, Aymer. *The Art of William Morris*. George Bell, 1897. Plate XV.

---. *The Daisy Design*. N.d. Wall-Paper. Vallance, Aymer. *The Art of William Morris*. George Bell, 1897. Plate IV.

---. [Printer's Mark]. *The Story of the Glittering Plain Which Has Been Also Called the Land of Living Men or the Acre of the Undying*. By Morris. Illus. Walter Crane. Kelmscott Press, 1894.

[Morris, William]. *Wild Tulip*. Morris & Co., N.d. Wallpaper. 中央大学図書館所蔵。

Voragine, Jacobus de. *The Golden Legend*. Trans. William Caxton. Ed. Frederick S. Ellis. Vol. 1. Kelmscott Press; Bernard Quaritch, 1892.

・主要参考文献(図版出典一覧に掲載したものは省略)

小野二郎『ウィリアム・モリス—ラディカル・デザインの思想』中央公論社、1992年。

川端康雄『ウィリアム・モリスの遺したもの—デザイン・社会主義・手しごと・文学』岩波書店、2016年。

芸術新潮編集部「特集 ウィリアム・モリスの装飾人生」『芸術新潮』1997年6月号、pp. 22+。

谷田博幸解説「特集 ウィリアム・モリスの装飾人生」『芸術新潮』1997年6月号、pp. 3+。

マイケル・バリー『モリス商会—装飾における革命』藤田治彦監訳。東京美術、2013年。

藤田治彦『もっと知りたいウィリアム・モリスとアーツ&クラフツ』東京美術、2009年。

ウィリアム・モリス『小さな芸術—社会・芸術論集I』川端康雄編訳。月曜社、2022年。

ウィリアム・モリス『理想の書物』1992年。川端康雄訳。ウィリアム・S・ピーターソン編。筑摩書房、2006年。

¹ ウィリアム・モリス「中世彩飾写本についての若干の考察—モリス未発表の断章」川端康雄訳『理想の書物』ウィリアム・S・ピーターソン編。筑摩書房、2006年、p. 56。

² 例えば講演「小さな芸術」(ウィリアム・モリス著・川端康雄編訳『小さな芸術—社会・芸術論集I』月曜社、2022年)でもこの章について言及している(pp. 12–13)。

³ このあたりの経緯については、例えば谷田博幸の解説(「特集 ウィリアム・モリスの装飾人生」『芸術新潮』1997年6月号などに詳しい(pp. 10–11, pp. 28–29, pp. 34–35)。

⁴ モリス、前掲書、2022年、p. 38。

⁵ Ibid., pp. 9–10, pp. 13–14, pp. 16–20, pp. 24–25; モリス「生活の小さな芸術」(前提書、2022年)、pp. 245–47参照。

⁶ 小野二郎『ウィリアム・モリス—ラディカル・デザインの思想』(中央公論社、1992年)に掲載されている商会の「設立趣意書」の訳を引用した(p. 81)。

⁷ 詳細は、藤田治彦『もっと知りたいウィリアム・モリスとアーツ&クラフツ』(東京美術、2009年)、p. 13; マイケル・バリー『モリス商会—装飾における革命』(藤田治彦監訳、東京美術、2013年)、p. 5; 谷田、前掲記事、pp. 12, 28などを参照のこと。

⁸ 詳細は、バリー、前掲書、p. 5; 谷田、前掲記事、p. 17, pp. 28–29; 芸術新潮編集部「特集 ウィリアム・モリスの装飾人生」(『芸術新潮』1997年6月号)、p. 22などを参照。

⁹ 商会の初期については小野、前掲書、pp. 82–83; 川端康雄『ウィリアム・モリスの遺したもの—デザイン・社会主義・手しごと・文学』(岩波書

店、2016年)、pp. 60–61等に詳しい。

¹⁰ 谷田、前掲記事、p. 34; 芸術新潮編集部、前掲記事、p. 33。

¹¹ 詳細は、藤田、前掲書、p. 26参照。

¹² 谷田はモリスのデザインが「北国」イギリスで人気になった理由の一つをここに見ている(前掲記事、pp. 41, 43)。

¹³ 詳細は、川端、前掲書、2016年、pp. 60–61; バリー、前掲書、p. 10。

¹⁴ このあたりの詳細は川端、前掲書、2016年、pp. 60–62。

¹⁵ 詳細は、バリー、前掲書、p. 12; 川端、前掲書、2016年、pp. 62–63参照。

¹⁶ 例えば、モリス「小さな芸術」(前掲書、2022年)、pp. 42–44。

¹⁷ バリー、前掲書、pp. 7, 25などを参照。

¹⁸ 詳細は、川端、前掲書、2016年、pp. 38–40を参照のこと。

¹⁹ 建築と本に対するモリスの考えが似ていることについては、谷田、前掲記事、pp. 72–73; 藤田、前掲書、p. 64; 川端、前掲書、2016年、pp. 34–35などに詳しい。室内装飾についてはモリス「生活の美」(前掲書、2022年)、pp. 123–26。

²⁰ ウィリアム・モリス「ゴシック本の木版画—一八九二年の講演」(モリス、前掲書、2006年)、p. 123。

²¹ Ibid., p. 124。

²² 理想の書物の条件についてはモリス「理想の書物—一八九三年の講演」(モリス、前掲書、2006年)、p. 173参照。

²³ 「ケルムスコット・プレスのウィリアム・モリス氏—『イングリッシュ・イラストレイテッド・マガジン』—一八九五年」(モリス、前掲書、2006年)、pp. 239–40。

就活に役立つ！ 企業・業界研究セミナー

毎年キャリアセンターと共催して新聞や企業情報、就職四季報など、データベースを用いた企業・業界研究セミナーを開催しています！



日経各紙の記事・企業情報などの収集をサポート！



就職四季報や業界地図をオンラインで読みたい！



有価証券報告書(ユーホー)から国内企業の情報を徹底比較！



開催例 (2024年4月) 就職四季報・業界地図を読み解く東洋経済DCL活用セミナー (対面実施)

東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリーは、東洋経済新報社発行の「週刊東洋経済」、「金融ビジネス」、「会社四季報」、「就職四季報」、「海外進出企業総覧」、「地域経済総覧」、「全国大型小売店総覧」、「都市データパック」、「会社財務カルテ」、「株価総覧」、「スーパーマーケット総覧」、「四季報業界地図」などの雑誌記事や企業情報を提供しています。雑誌記事は記事中の語句を全文検索でき、そのほとんどをPDF形式で利用できます。

当日は、スキマ時間にタブレットやスマホから「就職四季報」や「業界地図」をチェックする方法に加えて、それらを「どう読み解くのか」について、プロの講師に解説いただきました。

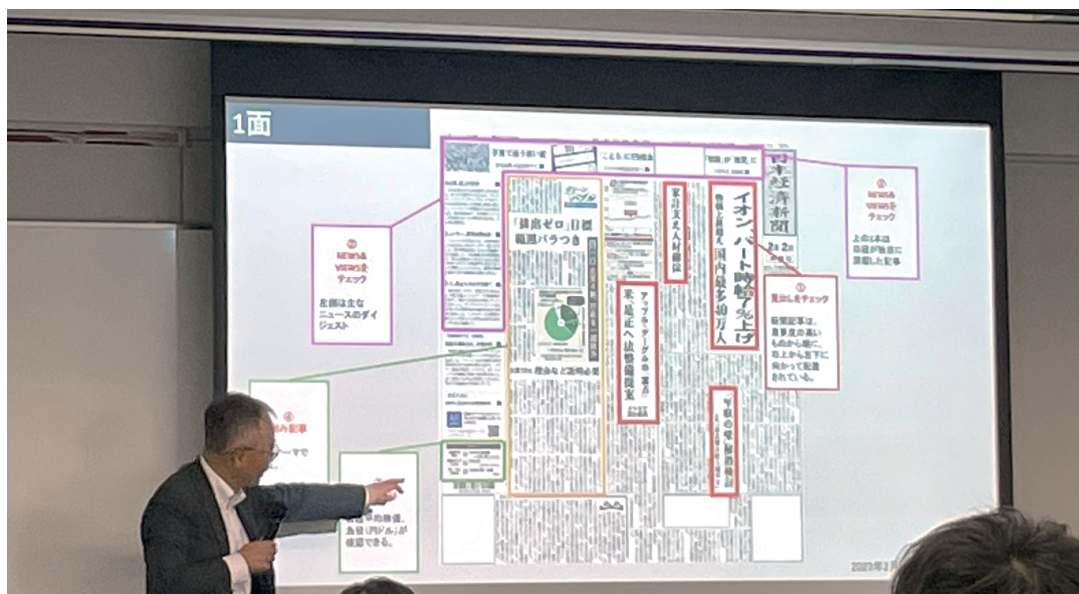
就活の際に活用すれば、強い味方になること間違いなしのオススメのデータベースです！

開催例 (2024年6月) 就活応援!実践型ランチタイムセミナー～新聞で差のつく質問のヒント～ (対面実施)

講師として、日経メディアプロモーション株式会社 圓尾 弘和 氏(日経MP情報アドバイザー)をお招きし、「新聞で差のつく質問のヒント」をテーマに、採用選考の面接試験で逆質問することの重要性や、質問力を向上させるための情報収集としての新聞記事の読み方について講演いただきました。

当日はあいにくの空模様でしたが、事前に申し込んだ学生の多くが参加し、配付された日経新聞と日経MJのほか、説明資料を手に熱心に講師の説明に耳を傾けていました。

参加者からは「企業への質問の仕方がよく理解出来た」「ふらっと来てみたが、重要な情報を手に入れることが出来てよかった」などの感想や講師への質問もありました。



日経メディアプロモーション株式会社 圓尾 弘和 氏 (日経 MP 情報アドバイザー)

次回の就活応援セミナーに向けて(秋季～冬季予定)、参加者の方の就職活動や研究活動にとって、有意義なものとなる内容にしていきます。

図書館企画展示「源氏物語」を開催

期間：2024年4月1日(月)～5月22日(水)

「My CUL」43号(2024年4月発行)の特集記事と連動した企画展示を開催しました。2024年の大河ドラマ「光る君へ」にて紫式部が取り上げられたことから、多くの方が関心を示していました。

今回の展示では中川 照将教授(文学部)のわかりやすい解説とともに、特集記事の中で紹介している中院本「源氏物語」をはじめ、源氏物語の様々な注釈書を展示しました。目にする機会の少ない貴重な写本の数々から、「源氏物語」の本質を解き明かそうと試行錯誤していた先人たちの姿に触れることができたのではないのでしょうか。

貸出可能な関連資料も同時に展示をし、手に取り実際に借りていく方も見られ、改めて「源氏物語」という作品の魅力を感じる機会となりました。



中川 照将教授(文学部)
の特集記事は前号
「My CUL43号」に掲載
されております。
ぜひご覧ください。



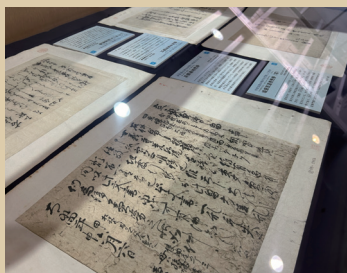
文学部 西川 広平教授ゼミ主催展示 「中世都市 山田と伊勢の旅」を開催

期間
2024年6月26日(水)
～8月4日(日)

この展示は西川 広平教授(文学部)と、日本史学専攻・西川ゼミの4年次学生、ならびに学芸員資格課程の博物館実習の学生が協力をし、作り上げたものです。

中央大学図書館が所蔵する、室町・戦国時代の古文書を通して、伊勢神宮外宮の門前町(鳥居前町)として栄えた中世都市・山田に暮らす人々の活動を探るとともに、江戸時代に刊行された伊勢参宮の案内書『伊勢参宮名所図会』を通して、学生が選んだ中世に遡る伊勢路の道中の名所・旧跡を紹介しました。

キャプションの作成、展示準備まで学生自身が行い、普段触れることのない資料に少し緊張をしながらも、見せ方などを相談し合い、より良い展示にしようと模索する姿が見られました。



日・EU フレンドシップウィーク企画展

『「オリンピック」と「フランス」～繋がる歴史、未来への想い～』を開催

2024年5月27日(月)から6月8日(土)まで、中央大学図書館では、国際機関資料室(EU情報センター)主催で、『「オリンピック」と「フランス」～繋がる歴史、未来への想い～』を開催しました。これは日本とEUの文化交流を目的とする日・EUフレンドシップウィーク企画展(駐日欧州連合代表部後援)の一環です。

今回の展示は、1924年にパリで開催された夏季オリンピックから100年を迎えた今年に再びパリ五輪が開催されたことを記念して行われました。フランスの「自由」「平等」といった価値観とオリンピック精神を結びつけ、100年にわたるオリンピックの歴史を振り返るとともに、「難民選手団」のパネル展示を通じて、国際問題への意識啓発も行いました。

展示は「フランス社会」「フランス芸術」「オリンピック」の3つのコーナーに分けられ、約40冊の資料が展示されました。また、本学体育館から貸与を受けた「中大オリンピック選手のパネル」も一緒に展示されました。

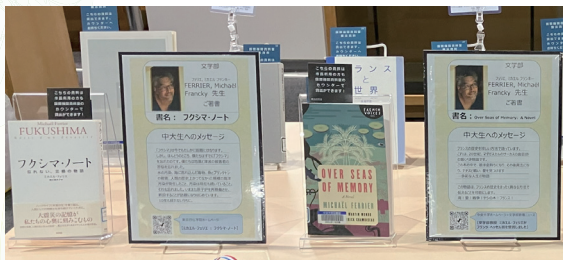
文学部教授で作家のミカエル・フェリエ先生作品にも焦点を当て、『フクシマ・ノート』と『Over seas of memory: a novel』には、フェリエ先生のサインとメッセージが添えられました。さらに、「バンド・デシネ」



日・EU フレンドシップウィーク企画展外観



中央大学とオリンピック展示パネル



ミカエル・フェリエ先生の作品と中大生へのメッセージ

の紹介展示も行い、このフランス語圏の

大人向け漫画の解説には、東京日仏学院の協力を得ました。

展示期間中、多くの見学者が訪れ、フランス文化とオリンピック精神に触れる機会となりました。アンケートに答えた見学者にはEU公式グッズが配布され、「フランスの価値観とオリンピックの結びつきに感銘を受けた」などの感想が寄せられました。

ご活用ください！！高速デリバリーのご案内

中央大学図書館では他キャンパスの図書・資料をお取寄せすることが出来ます。最速で、申込日の翌日(閉館日除く)にお受取り出来ます。ぜひご活用ください。

利用方法

CHOISからお申込みください。予約・取寄ボタンを押し、画面の案内に従い操作してください。

※取り寄せた資料の置き置き期限は、資料の到着より10日間です。



CHOIS Chuo Online Information System
中央大学図書館 蔵書検索システム

図書TOP 閲覧履歴

検索メニュー ▼ マイページ ▼ よくある質問

書誌詳細 印刷

▲ 検索結果一覧へ戻る

民事法と精神医学
図書 松下正明専門編集... 中山書店, 2005.9. -- (司法精神医学 / 松下正明総編集; 山内俊雄, 山上隆, 中台隆二編集; 4). <BB01329637>

便利機能: ブックマーク 出力 メール 文献管理
▶ 目次・あらすじを見る ▶ 詳細情報を見る

① 所蔵館で自分が普段使うキャンパスにあるか確認しましょう。

② 自分が普段使うキャンパスになれば予約・取寄ボタンを押して申し込みましょう。

ナンバーをクリックすると所蔵詳細を見ることができます。

No.	巻号	CL	所蔵館	配置場所	請求記号	資料ID	状態	返却予定日	予約
0001			中央館	中央書庫 (請求書)	498.99/Ma88	00022915904	予約棚		1件 (予約・取寄)
0002			心理学研究室	心理学 (請求書)	498.99/Ma88	00025579418			0件 (予約・取寄)
0003			法学部図書館	法蘭架 (請求書)	498.99/Ma88	00022861330			0件 (予約・取寄)
0004			外部保管庫	外保27 (請求書)	498.99/Ma88	00023331275			0件 (予約・取寄)

▲ このページのTOPへ

③ 受取可能となったかはCHOISの状態または受取可能通知から確認することが出来ます。「予約棚」と表示されたら受取可能です。

新収資料紹介

教職員著作目録 2023.5－2023.9 配架図書一覧 ()は所属学部等

著者名		書名	出版社	出版年月	所蔵館	書誌番号
浅倉 和俊(商), 渡辺 竜介	著	公認会計士試験財務会計論の重点詳解 第5版	中央経済社	2023.7	中央館/法学部	BB01688447
新井 誠(研), 岡 伸浩	編	民法講義録 第3版	日本評論社	2023.3	中央館/法学部/LS	BB01681245
新井 誠(研) 八合 博喜(研) ほか	編集代表 編集協力	信託制度のグローバルな展開と我が国の課題 (高齢社会における信託活用のグランドデザイン 第1巻)	日本評論社	2023.3	中央館/法学部	BB01681507
日本流通学会 李 炅泰(商), 井上 真里(商), 木立 真直(商), 佐久間 英俊(商),	編 執筆	現代流通事典 第3版 (Hakuto management)	白桃書房	2023.3	中央館/法学部	BB01682368
王 安徳 飯塚 容(文)	著 訳	長恨歌	アストラハウス	2023.9	中央館/中言	BB01690784
池田 賢市(文)	著	学校で育むアナキズム	新泉社	2023.4	中央館/教育学	BB01681629
後藤 弘子 ほか 井田 良(法務)	編著 執筆	女性犯罪研究の新たな展開：岩井宣子先生栄寿・安部哲夫先生古稀記念論文集	尚学社	2023.5	法学部/LS	BB01684167
伊藤 篤(経)	編著	教育とICT (中央大学経済研究所研究叢書 80)	中央大学出版部	2023.3	中央館	BB01682138
岩田 重則(総政)	著	「玉音」放送の歴史学：八月一日をめぐる権威と権力	青土社	2023.7	中央館/法学部	BB01687282
植野 妙実子(名) ほか	編著	現代教育法	日本評論社	2023.3	中央館/法学部/LS	BB01680286
遠藤 研一郎(法)	著	はじめまして、法学：身近なのに知らなすぎる「これって法的にどうなの？」 第2版	ウェッジ	2023.4	中央館/法学部	BB01681619
岡嶋 裕史(国情)	監修	マンガでわかる！メタバースの世界	宝島社	2023.3	理工/ITL	BB01683915
岡嶋 裕史(国情) 日本放送協会, NHK出版	講師 編	たちまちスマホの達人 (NHKテキスト 趣味どきっ！)	NHK出版	2023.4	ITL	BB01683912
岡嶋 裕史(国情)	著	ChatGPTの全貌：何がすごくて、何が危険なのか？ (光文社新書 1267)	光文社	2023.8	中央館/法学部/ITL	BB01690250
小賀野 晶一(法) ほか	編著	一般条項の理論・実務・判例 第1巻 基礎編 (勁草法律実務シリーズ)	勁草書房	2023.2	法学部/LS	BB01684745
小賀野 晶一(法) ほか	編著	一般条項の理論・実務・判例 第2巻 応用編 (勁草法律実務シリーズ)	勁草書房	2023.2	法学部/LS	BB01684746
家永 香織, 小野 泰央(文) ほか	著	俊頼髄脳全注釈	勉誠社	2023.3	中央館/国文	BB01681666
唐津 博(法)	著	労働法論の探究：労働法の理論と政策	旬報社	2023.2	中央館/法学部	BB01679007
浜村 彰, 唐津 博(法) ほか	著	ベーシック労働法 第9版 (有斐閣アルマ Basic)	有斐閣	2023.3	中央館/法学部/LS/ITL	BB01680602
小林 学(法務)	著	実戦演習民事訴訟法：予備試験問題を素材にして	弘文堂	2023.7	中央館/法学部/LS	BB01687798
山口 厚, 佐伯 仁志(法務) ほか	著	判例刑法各論 第8版	有斐閣	2023.4	中央館/法学部/LS/ITL	BB01681376
佐伯 仁志(法務), 只木 誠(法)	編	刑事法の理論と実務 5	成文堂	2023.6	中央館/法学部/ITL	BB01684610
酒井 克彦(法務)	著	レクチャー・租税法解釈入門 第2版	弘文堂	2023.7	中央館/法学部/LS	BB01688848
中央大学経済学部 佐藤 拓也(経), 赤羽 淳(経), 岡本 千草(経), 瀬澤 弘和(経), 武田 勝(経), 田中 光(経), 林 光洋(経), 益永 淳(経), 若松 直幸(経)	編 執筆	やっぱり経済学はおもしろい！：高校の勉強ってどう役立つの？	中央大学出版部	2023.7	中央館/法学部	BB01688791
堀井 祐介 ほか 佐藤 信行(法務), 植野 妙実子(名), 福原 紀彦(名)	編著 執筆	認証評価の近未来を覗く：大学教育の質保証と達成度評価	エイデル研究所	2023.3	中央館/法学部	BB01681320
興田 芳憲(名) 矢沢 久純	著 補訂	法令用語ア・ラ・カルト	中央経済社	2023.8	中央館/法学部/LS/ITL	BB01688846
篠原 正博(経) ほか	編著	テキストブック地方財政 第3版	創成社	2023.5	中央館/法学部	BB01686639
アーネスト・ヘミングウェイ 長村 法夫(名)	著 訳	老人と海：挿し絵入り版	小島遊書房	2023.5	中央館	BB01684562
ヴィール・コラート ほか 杉浦 宣彦(戦略)	編著 訳	欧州金融規制：分野横断的側面からの分析 (日本比較法研究所翻訳叢書 87)	中央大学出版部	2023.3	中央館/法学部/LS	BB01682088
西谷 拓哉, 高尾 直知(文) ほか	編著	ロマンスの倫理と語り：いまホーソーンを読む理由 = The ethics and the narrative of romance : 22 reasons why we read Hawthorne now	開文社出版	2023.5	中央館/英文	BB01684909
高田 裕成(法務) ほか	編	総則 2 (有斐閣コンメンタール 注釈民事訴訟法 第2巻)	有斐閣	2023.8	中央館/法学部/LS	BB01690109
高橋 治男(名)	著	ジャック・ブレヴェールのシャンソン	風都舎	2022.9	中央館	BB01688002
滝田 賢治(名) ほか	編	国際関係学：地球社会を理解するために 第3版補訂版	有信堂高文社	2023.4	中央館/法学部	BB01682207
竹田 陽子(戦略)	著	共創創造：多角的視点取得が組織にもたらすダイナミズム	白桃書房	2023.4	中央館/BS	BB01683545
中央大学法学部 武智 秀之(法), 磯崎 初仁(法), 秋吉 貴雄(法), 工藤 裕子(法) ほか	編 執筆	都市政治論	中央大学出版部	2023.4	中央館/法学部	BB01682000
田中 拓男(名)	著	論語に導かれて創造的チームラーニング：智、仁、礼、言の力の育成	リーブル出版	2023.7	中央館	BB01687422
張 用振(国経) ほか	編	Civil service systems in East and Southeast Asia	Routledge	2023	中央館	BB01690682
寺本 剛(理) 佐藤 陽祐(文), 青木 滋之(文), 竹中 真也(理) ほか	編著 執筆	リアリティの哲学 (中央大学人文科学研究所研究叢書 79)	中央大学出版部	2023.3	中央館/理工	BB01682145
戸口 英夫(名)	著	異邦人の孤独を生きて：ある邦人女性のウィーン回想	鳥影社	2023.6	中央館	BB01685924
嶋子 博子(経)	著	ルソーの政治経済学：その現代的可能性	晃洋書房	2023.4	中央館/法学部	BB01681610
縄田 雄二(文), 小山 恵司(文), 吉野 朋美(文), 森岡 実穂(経), 唐橋 文(文), 水上 雅晴(文), 鈴木 俊幸(文), 石橋 悠人(文) ほか	編 執筆	グローバル文化史の試み (中央大学学術シンポジウム研究叢書 13)	中央大学出版部	2023.3	中央館	BB01682136
西川 広平(文)	著	武田一族の中世 (歴史文化ライブラリー 574)	吉川弘文館	2023.8	中央館/日史	BB01688555
本沢 巳代子, 新田 秀樹(法)	編	トピック社会保障法 2023 第17版	不磨書房	2023.4	中央館/法学部/LS	BB01681612
橋本 基弘(法)	著	日本国憲法を学ぶ 第3版	中央経済社	2023.3	中央館/総政/法学部/ LS	BB01680157
広岡 守穂(名)	著	ちいさな勇氣：広岡守穂詩集	土曜美術社出版 販売	2023.3	中央館	BB01681698
古田 裕清(法), 森 光(法) 西村 暢史(法)	編著 執筆	法学部生のための小論文教室	中央経済社	2023.3	中央館/法学部	BB01680151
佐藤 龍三郎, 松浦 司(経)	編著	SDGsの人口学 (人口学ライブラリー 23)	原書房	2023.3	中央館/法学部	BB01680256
須田 努 宮間 純一(文)	編 執筆	社会変容と民衆暴力：人びとはなぜそれを選び、いかに語られたのか	大月書店	2023.5	中央館/法学部	BB01684935
村田 渉(法務)	編著	債権総論編 1 (事実認定体系)	第一法規	2023.7	法学部/LS	BB01687835
森 光(法)	著	法学部生のための法解釈学教室	中央経済社	2023.4	中央館/法学部/LS/ITL	BB01680299
山内 惟介(名)	著	憲法と国際私法：基礎理論と児童婚規制 (日本比較法研究所研究叢書 129)	中央大学出版部	2023.3	中央館/法学部/LS/ITL	BB01682091
山田 省三(名), 石井 保雄	編著	トピック労働法 第2版	信山社	2023.4	中央館/法学部/LS	BB01681410
吉田 雅裕(国情)	著	Pythonで学ぶはじめてのデータサイエンス：基礎テキスト	技術評論社	2023.4	中央館/理工/ITL	BB01680708
巨理 格(法) ほか	著	現代行政法入門 第5版	有斐閣	2023.3	中央館/法学部/LS/ITL	BB01680162

* (法):法学部、(経):経済学部、(商):商学部、(理):理工学部、(文):文学部、(総):総合政策学部、(国経):国際経営学部、(国情):国際情報学部、(法務):法務研究科、(戦略):戦略経営研究科、(研):研究開発機構教授、(名):名誉教授、(職):職員

My CUL

(マイ・クル)
中央大学図書館広報誌 No.44
(2024年 11月発行)

編集発行 中央大学図書館
〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1
TEL.042-674-2546

URL: <https://www.chuo-u.ac.jp/library/>

